

## イネ科通信 28

### トキワススキとパンパスグラス

(2013/10/30)

大型イネ科植物のススキやオギなどはよく知られています。更に大きなイネ科植物にトキワススキとパンパスグラスがあります。この両者とも大きな株をつくり、離れたところから見ても簡単に見分けることができます。トキワススキは平地や丘陵地に生えます。一方、パンパスグラスは栽培種で植物園や公園などで栽培されているのでよく知られています。パンパスグラスの雄株は貧弱なため栽培されずに雌株だけが育てられています。

下表に両者を比較してみました。

	葉身の鋸歯・中央脈	葉身の反転など
トキワススキ	鋸歯は退化して片側のみのところもある。触れても殆ど皮膚が切れることはない。中央脈は裏面に出るが浅い。	葉身は大きく反るが反転しない。 葉身はやや薄く、幅は15~35mmでパンパスグラスよりもかなり柔らかい。
パンパスグラス	葉身には両側とも鋸歯があり鋭く触れると皮膚が切れる恐れがある。中央脈は裏面に深く突き出る。	大きく反って、しかも葉身は反転する。 葉身は厚くて硬い。幅は6~12mmである。

\* 写真左側2枚はトキワススキ、右側2枚はパンパスグラスです。

